

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年 1 月11日
【四半期会計期間】	第52期第3四半期(自 平成24年 9 月 1 日 至 平成24年11月30日)
【会社名】	株式会社カスミ
【英訳名】	KASUMI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤 田 元 宏
【本店の所在の場所】	茨城県つくば市西大橋599番地1
【電話番号】	(029)850-1850 (代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役上席執行役員業務企画本部マネジャー 兼コンプライアンス統括室マネジャー 福 井 博 文
【最寄りの連絡場所】	茨城県つくば市西大橋599番地1
【電話番号】	(029)850-1850 (代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役上席執行役員業務企画本部マネジャー 兼コンプライアンス統括室マネジャー 福 井 博 文
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第 3 四半期連結 累計期間	第52期 第 3 四半期連結 累計期間	第51期
会計期間	自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年11月30日	自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年11月30日	自 平成23年 3 月 1 日 至 平成24年 2 月29日
売上高 (百万円)	158,740	164,546	214,261
経常利益 (百万円)	6,189	4,529	8,363
四半期(当期)純利益 (百万円)	1,072	2,270	1,457
四半期包括利益又は 包括利益 (百万円)	1,009	2,294	1,448
純資産額 (百万円)	41,386	43,148	41,825
総資産額 (百万円)	79,997	80,964	78,314
1 株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	16.55	35.05	22.50
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	51.7	53.3	53.4

回次	第51期 第 3 四半期連結 会計期間	第52期 第 3 四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成23年 9 月 1 日 至 平成23年11月30日	自 平成24年 9 月 1 日 至 平成24年11月30日
1 株当たり四半期純利益金額 (円)	15.31	11.66

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 「潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益金額」については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 第51期第 3 四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定に当たり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成24年 6 月29日公表)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第 3 四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、震災復興需要などにより穏やかな回復基調となりましたが、欧州財政危機の影響や円高の長期化などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、お客様に共感していただける店舗づくりを目指し、良質な商品とサービスをロープライスで提供できる仕組みの確立に取り組んでおります。

営業面では、お客様に「ほんもの」の満足をご提供できるよう、小売業の基本であるQSC（品質・サービス・清潔感）の向上、個店毎のマーケットに応じた売場作り、値ごろ感を重視した販促企画の強化に取り組みました。また、スマートフォンで当社のチラシを閲覧できるアプリケーションの提供や、クリスマスカタログにおいては紙面とネット上の動画を組み合わせた商品紹介を行うなど、スマートフォンを活用した販促にも取り組みました。

さらに、お客様との新たなコミュニケーション構築を目的に、ソーシャルメディアの活用を推進する専任部署を設置し、平成24年5月に公式Facebook（フェイスブック）ページを開設しました。9月に開店したフードスクエア越谷ツインシティ店ではFacebookを活用したお客様モニターを開始し、お客様の声を店舗運営に反映させる仕組みづくりを進めています。

新たな取り組みでは、社会問題になっている高齢化や買い物弱者等に対する小売りサービスの可能性を検証するため、つくば市において移動スーパーの実験を実施しています。また、ネットスーパーにつきましては、当第3四半期連結会計期間末現在5店舗にてサービスを行っております。

環境保全活動では、電気使用量の削減を継続強化し、店舗照明のLED化や酒・ドリンク売場の冷蔵ケースへの夜間停止タイマー設置など省エネ投資を行いました。また、「カスミ共感創造の森」にて第2回植樹祭を開催し、森林再生事業への取り組みを継続しております。

また、昨年度の「陸前高田七夕まつり」支援チャリティー活動では多くの方々に共感いただき山車の制作資金を寄贈することができました。平成24年8月には「陸前高田七夕まつり体験学習」を行い、参加した小学生たちは現地で津波被害から復活した山車を引き、伝統文化と地域社会の絆を体感してきました。翌9月には、つくば市にて七夕まつりの山車と太鼓を披露していただき、陸前高田の皆さんとの交流を深めました。

出店につきましては、フードスクエア越谷大袋店（埼玉県越谷市）、フードスクエア流山おおたかの森店（千葉県流山市）、フードスクエア春日部武里店（埼玉県春日部市）、おもちゃのまち店（栃木県下都賀郡壬生町）、フードスクエア越谷ツインシティ店（埼玉県越谷市）、フードスクエアふじみ野店（埼玉県ふじみ野市）の6店舗を開店し、総店舗数は当第3四半期連結会計期間末現在147店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は1,704億62百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。営業利益は43億88百万円（前年同四半期比29.6%減）、経常利益は45億29百万円（前年同四半期比26.8%減）となりました。また、四半期純利益は22億70百万円（前年同四半期比111.8%増）となりました。

なお、当社グループはスーパーマーケット事業とその他の事業を展開しておりますが、スーパーマーケット事業以外のセグメントは重要性が乏しいことから、スーパーマーケット事業の単一セグメントとみなせるため、セグメント別の状況の記載を省略しております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ26億50百万円増加（3.4%増）し、809億64百万円となりました。

（流動資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べ11億25百万円増加（5.4%増）し、218億83百万円となりました。主にたな卸資産の増加6億16百万円、売掛金の増加4億12百万円によるものであります。

（固定資産）

固定資産は前連結会計年度末に比べ15億25百万円増加（2.7%増）し、590億81百万円となりました。主に有形固定資産の増加18億28百万円によるものであります。

（流動負債）

流動負債は前連結会計年度末に比べ20億90百万円増加（7.6%増）し、297億3百万円となりました。主に買掛金の増加19億85百万円によるものであります。

（固定負債）

固定負債は前連結会計年度末に比べ7億62百万円減少（8.6%減）し、81億13百万円となりました。主に長期借入金の減少4億85百万円によるものであります。

（純資産）

純資産額は前連結会計年度末に比べ13億22百万円増加（3.2%増）し、431億48百万円となりました。主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	124,800,000
計	124,800,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年11月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年1月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	65,013,859	65,013,859	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	65,013,859	65,013,859	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年11月30日	-	65,013,859	-	14,428	-	12,149

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成24年8月31日現在の株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 240,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 64,728,500	647,285	-
単元未満株式	普通株式 44,859	-	-
発行済株式総数	65,013,859	-	-
総株主の議決権	-	647,285	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権10個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式が74株含まれております。

【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カスミ	茨城県つくば市 西大橋599-1	240,500	-	240,500	0.37
計	-	240,500	-	240,500	0.37

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 2 月29日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,386	10,378
受取手形及び売掛金	1,522	1,922
たな卸資産	4,243	4,859
繰延税金資産	1,254	1,520
その他	3,364	3,208
貸倒引当金	12	5
流動資産合計	20,758	21,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,067	21,636
土地	12,758	12,758
その他（純額）	4,144	3,403
有形固定資産合計	35,971	37,799
無形固定資産	964	765
投資その他の資産		
投資有価証券	6,934	6,811
敷金及び保証金	9,604	9,816
繰延税金資産	3,111	2,932
その他	1,044	1,030
貸倒引当金	75	76
投資その他の資産合計	20,620	20,515
固定資産合計	57,555	59,081
資産合計	78,314	80,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 2 月29日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,863	18,849
短期借入金	1,001	670
未払法人税等	1,292	895
賞与引当金	1,369	2,095
転貸損失引当金	18	0
その他	7,066	7,191
流動負債合計	27,612	29,703
固定負債		
長期借入金	1,380	895
退職給付引当金	1,956	1,938
役員退職慰労引当金	23	7
債務保証損失引当金	115	110
長期預り保証金	3,199	3,114
資産除去債務	1,484	1,693
その他	716	352
固定負債合計	8,875	8,113
負債合計	36,488	37,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,428	14,428
資本剰余金	14,116	14,116
利益剰余金	13,326	14,625
自己株式	138	138
株主資本合計	41,732	43,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	117
その他の包括利益累計額合計	93	117
純資産合計	41,825	43,148
負債純資産合計	78,314	80,964

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	158,740	164,546
売上原価	117,136	121,825
売上総利益	41,603	42,721
営業収入	5,505	5,915
営業総利益	47,109	48,637
販売費及び一般管理費	40,874	44,248
営業利益	6,234	4,388
営業外収益		
受取利息	37	35
受取配当金	25	25
補助金収入	74	69
その他	139	170
営業外収益合計	277	301
営業外費用		
支払利息	38	21
持分法による投資損失	278	98
その他	7	41
営業外費用合計	323	160
経常利益	6,189	4,529
特別利益		
投資有価証券売却益	-	6
貸倒引当金戻入額	59	-
前期損益修正益	42	-
その他	2	-
特別利益合計	104	6
特別損失		
固定資産除売却損	33	70
減損損失	565	86
災害損失引当金繰入額	26	-
災害損失	2,301	78
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,061	-
その他	35	1
特別損失合計	4,023	237
税金等調整前四半期純利益	2,270	4,298
法人税、住民税及び事業税	1,969	2,132
法人税等調整額	771	104
法人税等合計	1,198	2,028
少数株主損益調整前四半期純利益	1,072	2,270
四半期純利益	1,072	2,270

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,072	2,270
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	62	23
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	63	23
四半期包括利益	1,009	2,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,009	2,294
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

連結子会社以外の会社の金融機関等からの借入等に対して、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成24年2月29日)		当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)	
(株)那珂湊商業開発	116百万円	(株)那珂湊商業開発	116百万円
(株)セイブ	22百万円	(株)セイブ	22百万円
合計	138百万円	合計	138百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
減価償却費	2,334百万円	2,704百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月11日 取締役会	普通株式	453	7	平成23年2月28日	平成23年5月9日	利益剰余金
平成23年10月3日 取締役会	普通株式	453	7	平成23年8月31日	平成23年11月15日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月9日 取締役会	普通株式	518	8	平成24年2月29日	平成24年5月7日	利益剰余金
平成24年10月1日 取締役会	普通株式	453	7	平成24年8月31日	平成24年10月29日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

当社グループは、スーパーマーケット事業を単一の報告セグメントとしており、その他事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円55銭	35円05銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,072	2,270
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,072	2,270
普通株式の期中平均株式数(株)	64,773,781	64,773,332

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成24年10月1日開催の取締役会において、平成24年8月31日の最終の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 453百万円
1株当たりの金額 7円
支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成24年10月29日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 1 月10日

株 式 会 社 カ ス ミ
取 締 役 会 御 中

有限責任監査法人 トー マ ツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	大 高 俊 幸	印
--------------------	-------	---------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	陸 田 雅 彦	印
--------------------	-------	---------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カスミの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年9月1日から平成24年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カスミ及び連結子会社の平成24年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。